

令和2年度 前期 学校評価アンケート集計結果

令和2年9月28日
京都市立横大路小学校
校長 谷 知加子

令和2年7月6日～13日の期間で、児童・保護者・教職員を対象に学校評価アンケートを実施しました。

児童数225名に対して、児童の回答率は99%，保護者の回答率は93%でした。教職員については、職種によって回答できない項目もありましたが、全職員対象に実施しました。なお、兄弟姉妹のあるご家庭については、お子達それぞれについて回答をお願いしています。

全年度末から断続的に続いた休校期間がおよそ3か月。6月に入り、休校は解除されたものの、分散登校期間を経て、全員がそろうまでに2週間かかりました。これまで経験したことのない、目に見えないものとの戦いのなかで、子どもたちはもちろん、保護者のみなさんも大変ご苦労をされたことと思います。そして、未だに感染が終息したわけではなく、これからも警戒をし続けなければなりません。そのような時ではありますが、6月から7月と、昨年度の後期の学校評価以降の学校や子どもたちの様子を振り返っていただき、アンケートに回答いただきました。お忙しい中ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。集計結果を以下の通りまとめ、今後の教育活動に活かすことができるよう、考えられる問題点や改善点を示しました。

学校教育目標

「夢を抱き 生き生きと輝く 横大路の子」

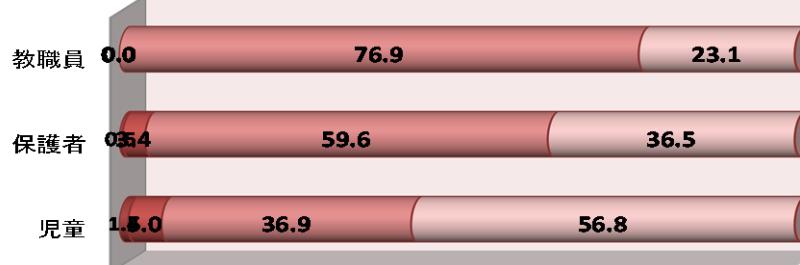
目指す子ども像

○自ら考え 自ら行動する子 ○命・心・体を大切にする子 ○学びを活かし、社会とつながる子

学校教育目標のもと、目指す子ども像を左記の通りとしています。目指す子ども像をめざし、研究教科を「体育科・特別活動・総合的な学習の時間・社会科」とし、「実生活との関わりに重点をおき、地域の安全、環境、自然、文化について主体的対話的に学び、考えることで、よりよく生きるために資質・能力を身に付けることができる。」という仮説を立てました。そして、つけたい力を「自ら課題を見出し、自他と対話しながら探求していく力」「互いのよさを認め合い、自他の命を大切にする力」「学んだことを実生活に活かし、社会参画する力」として日々の教育活動に取り組んでいます。

①学校に来るのが楽しい

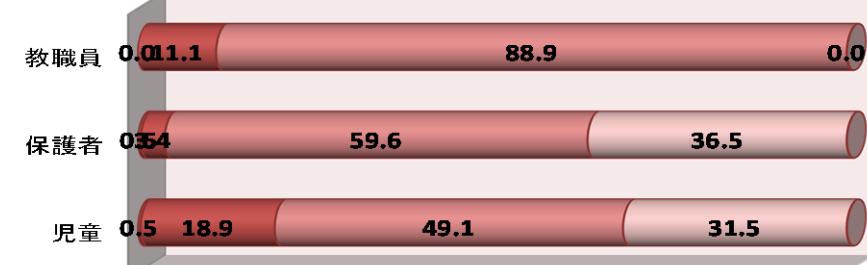
■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



児童・保護者ともに、90%以上が学校に来るのが楽しいと回答している。一方で、時々楽しくなさそう、楽しくなさそうな時が多いとの回答が5%程度ある。前回の調査でも同程度の回答があった。具体的な理由の把握をし、対応しなければならない。また、児童については前回よりも、楽しい・楽しい時が多いが5.7ポイント上昇した。臨時休校の影響も考えられる。

②思い考えをもって学んでいますか

■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



教職員との受け止めの違いが大きい項目。児童・保護者ともに30%以上が、主体的に学んでいると回答しているが、教職員は0%。児童一人一人からすると、主体的に学んでいると自覚しているものの、クラス全体を見ている側からすると、主体的に学ぶ姿が見られる場面や児童の割合が少ないと感じているのではないか。要求レベルが高いことは指導者としては必要なことではないか。

③話し合いながら学んでいますか

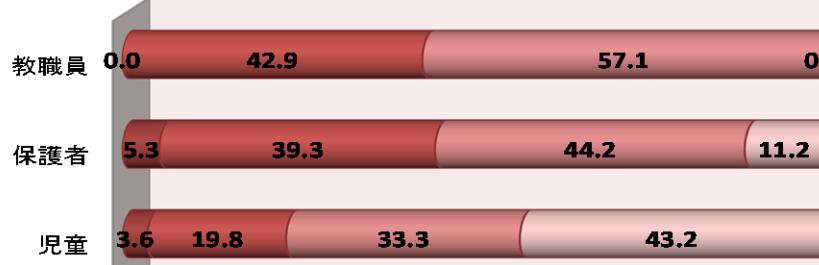
■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



前項よりもさらに教職員との受け止めの差が大きい。相手の話を聞く、自分の意見を言うなど、対話的活動があまりできていないという教職員の判断が30%。一方で児童の半数が、対話的活動ができると判断しており、教職員の求める対話的活動の姿と、児童がとらえている対話的活動のイメージのズレをなくしていく手立て（目指す姿の例示など）が必要。

④進んで家庭学習していますか

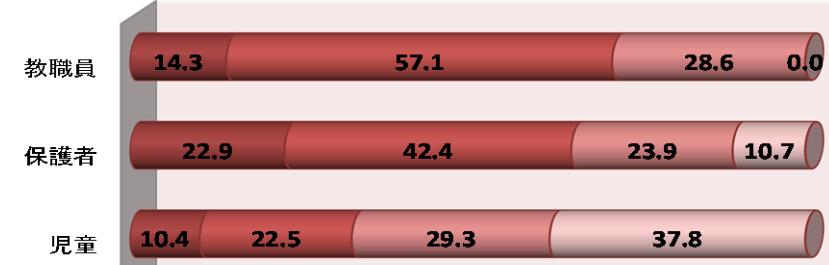
■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



児童の70%以上、保護者の50%以上が家庭学習に概ね取り組めていると回答。教職員も概ね取り組めていると判断している。一方で、保護者・教職員ともに同じ程度の不十分さを感じていることも見て取れる。不十分だと回答している保護者と、教職員が不十分だと判断している対象児童が一致するのであれば、徹底した指導が可能ではないだろうか。

⑤進んで読書していますか

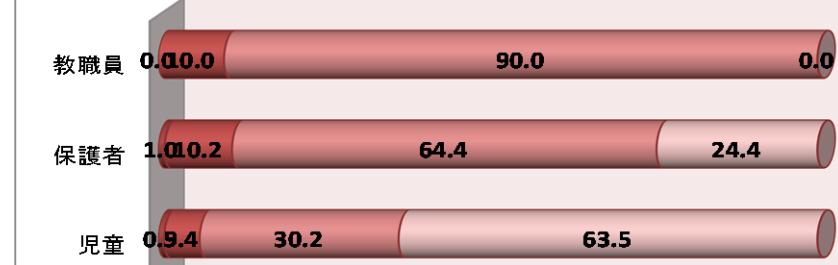
■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



進んで読書していると答えている児童の割合は、ほぼ毎回、35%前後となつており、読書量は多いとは言えない状況が続いている。本校の傾向として、漢字を書いたり、学年相応の言葉が使えたりすることに課題があるが、図書館利用の時間を設定するなどして対策は進めているもののまだ不十分であることがわかる。

⑥自分他者を大切にしていますか

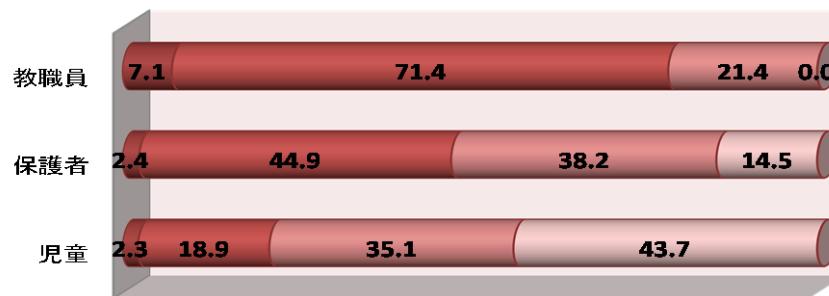
■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



3者ともに90%前後の高い割合で、自分や友達を大切にしていると回答している。児童の回答については、「はい」の割合が前回よりも13ポイントも上昇している。休校明けの短期間の学校生活であったものの、友達と勉強したり遊んだりすることのよさを感じたかもしれない。項目①とも関連しているところも見落としてはいけない。

⑦あいさつしていますか

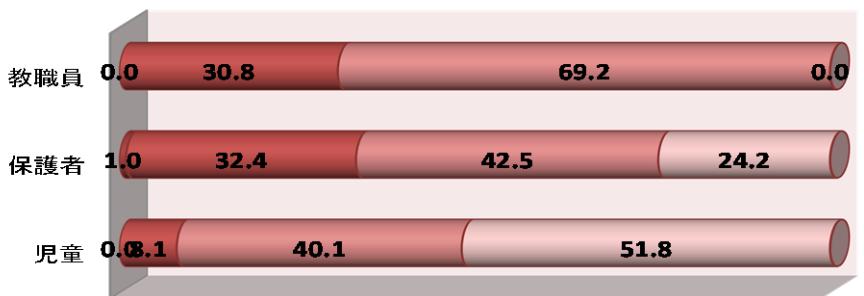
■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



この項目も保護者、教職員の回答が例年厳しい結果になっている。教職員の「あまり」「いいえ」の回答は、約88%となっており児童の回答と大きく食い違っている。質問紙は「自分から進んでしている」かどうかを聞く内容になっている。相手よりも先にあいさつすることと、あいさつを返すことと進んでいることの解釈の違いが原因か。

⑧きまり約束を守っていますか

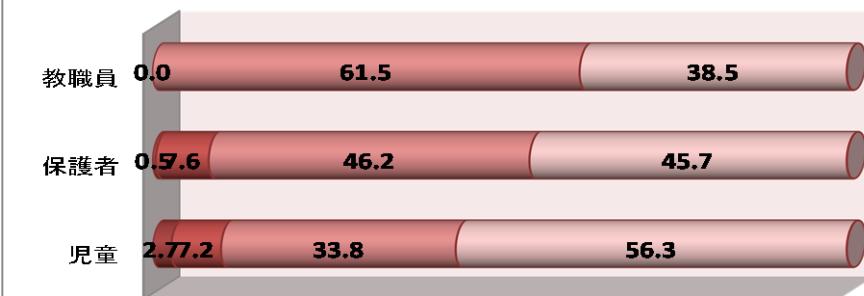
■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



教職員、保護者ともに約70%が概ねきまりや約束を守っていると回答しているが、児童は90%以上が概ね守っていると回答している。また、教職員、保護者の30%程度が、あまり守れていないと感じている。提出期日、時間、遊び方などきまりや約束には色々あるが、守れていないという回答の具体的な内容を洗い出して対応する必要がある。

⑨子どもをほめていますか

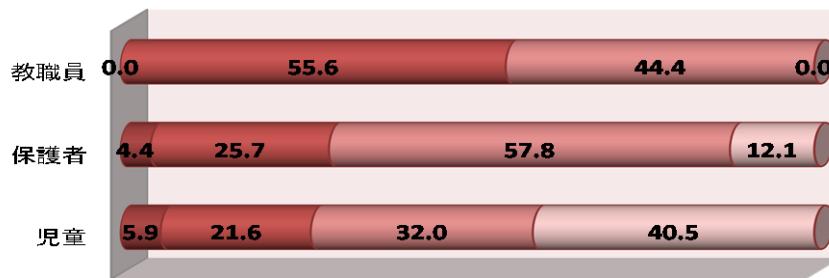
■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



この項目では、保護者、児童の「あまり」「いいえ」に着目しなければならない。教職員は、「子どもをほめないことがない」という回答をしているにもかかわらず、ほめてもらえていないと感じている保護者や児童がいることから、教職員は今一度、見落としがないか、現状に満足していないかを正す意識をもつ機会にしなければならない。

⑩生活習慣は身についていますか

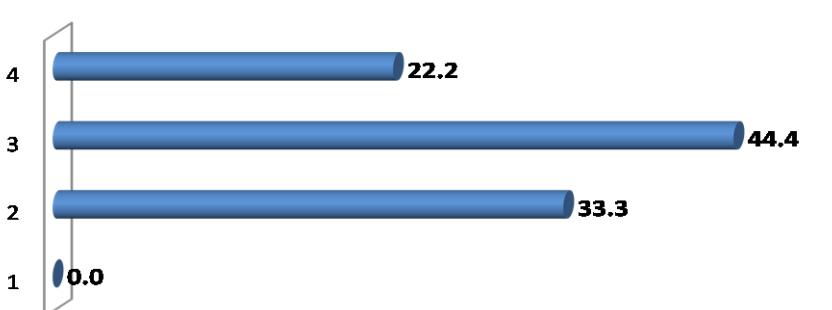
■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



学年ごとに身に付けてほしい生活習慣の内容や程度に違いがあるが、どの学年の保護者にも、「いいえ」「あまり」の回答が30%近くあった。特に、4年生になると、「いいえ」の割合が増えてくる傾向が見られた。年齢相応の生活習慣を身に付けてほしいという保護者の思いが反映されているのではないかと思われる。また、教職員の回答も、半数以上があまり身についていないとなっている。学校と家庭との連携がなければ改善できない項目である。

ICTの活用

■教職員



教職員だけに行った質問。パソコンなどICTを使っているかを聞いた。4がよく使っている、1がほとんど使っていない。60%以上の教員が活用している。コロナ対策でも、ICTの活用は必須となっている。教材提示に使うだけでなく児童が活用できるように指導することも忘れてはいけない。今年度からプログラミングについても指導内容に含まれている。

～学校運営協議会のみなさんより～

- 長期間にわたる休校の影響を受けている児童もいる。
- 読書にすすんで取り組んでいる児童の割合が例年30%程度なのは、小さいころからの読書習慣が関わっているのではないかと思う。
- 読書の習慣を身に付けることにも、地域の環境が関係していると思う。
- 他学区には、図書館があり、移動図書館などのサービスもある。昔から公共の施設がきちんと整備されていないということも考えられる。
- 横大路には素晴らしい歴史があり、地域のおもしろさがある。横大路の歴史について知らせておくことも必要。
- アンケート項目を地域や子供の実態に応じて変えていくことも必要ではないか。
- 生活習慣のところで、ゲームやスマホに費やす時間が多のではないか。学区内にボールを使って遊べる公園が少ないのも要因ではないか。
- 横大路運動公園があるが、子どもだけで行かせるには抵抗を感じる人もいるのではないかだろうか。
- 学校だけが教育の場ではなく、家に帰ってからの家族との時間での教育も重要。
- 幅広い年齢層が遊べる公園があれば、交流の場にもなっていいのではないかと思う。
- ☆アンケート結果を基に、学校運営協議会の理事、企画推進委員会の委員長、副委員長のみなさんにご意見をいただきました。学校と家庭、地域が一体となって子どもを育てるという、熱い思いが伝わってくる話合いとなりました。横大路地域の活性化と、学校の将来像を同じ視点から話合い、地域と学校とともに発展できるように、今後も本校教育にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

保護者コメント

- 月だよりの月間予定のところ、アルファベットで書いてあるけれど、何のことかわからないままになっています。誰が見てもわかりやすいような表記にしてもらえるとうれしいです。
- 毎日楽しそうです。よいことも悪いこともご指摘いただいているよう感謝しております。子ども同士だと感染症対策も難しいかと思いますが、まずはしっかりと話をしておくことが大事かと思っております。
- コロナ対策など大変なことがある中、楽しく学校へ行かせていただきありがとうございます。休み時間も楽しく過ごせているようよく話をしてくれるようになりました。
- 生活習慣、早寝早起きを私自身も一緒に気をつけながら、しっかり整理整頓も普段から工夫しながら楽しみながらしっかりと付けていけるようにもっと本人も意識して頑張ってほしいです。
- 本に触れる機会を増やしてほしいです。
- 担任の先生のことが大好きで、今までとは全く違い、自らテスト勉強や自主学習をしている。宿題も丁寧な字で書こうと努力し、先生にほめてもらえることに喜びを感じている。よいところ悪いところすべてを受け止めてくれる先生なので子も親も安心しています。
- 項目9に対しては学校生活を見ることができていないので回答が難しいですが、子どもは楽しいと言っているので安心しています。
- 項目9は子どもから聞くこともないし、見ているわけでもないので答えるのが難しいです。
- 学校が始まって1か月ほど、参観もできない状況での評価はなかなか難しいと感じました。
- 登下校時のマスク着用、いつも暑いと言っている。熱中症対策を考えてほしい。
- 小さなことでもほめてください、親の私でも気づかないところに気づいてくださりとても感謝しています。
- 自主勉強ノートに、ハンコだけでなくコメントを書いてもらえることに本人はやる気アップしています。
- 生活習慣が戻らないまま夏休みに突入してしまいそうで心配です。
- 勉強やスポーツはよく頑張っているが、生活習慣がまだまだです。
- 子どものことをじっくり観察し、気持ちに寄り添い、いいところを伸ばしていただいていると感謝しています。